

2年次で「ビブリオバトル決勝戦」が行われました。

◆今号の記事は、津田先生（2年次担任・国語担当）が書いてくれました。

7月21日（金）3時間目に「**2年次ビブリオバトル決勝戦**」を実践室で行いました。「**ビブリオバトル**」では、面白いと思う本を持ち寄り、**5分間**でその本についてプレゼンテーションをし合い、その後で**2～3分間**でディスカッションをし、どの本が一番読みたくなったかを基準に投票し、**チャンプ本**を決定します。この「ビブリオバトル」は、**2008年**に京都大学情報学研究科共生システム論研究室の谷口忠大氏によって考案され、現在、日本全国で開催されています。

今回、2年次では、**学級予選**（8人グループから1人チャンピオン選出）→**学級決勝**（グループのチャンピオン5人から1人チャンピオン選出）→**学年決勝**（各学級チャンピオン4人から学年チャンピオン1人選出）の流れで実施しました。

学年決勝では、D組千葉萌楓さん「死神の精度」伊坂幸太郎／文藝春秋、B組勝田至恩さん「93番目のキミ」山田悠介／文芸社、A組塚田燦志さん「プレイブ・ストーリー」宮部みゆき／角川書店、C組鉄谷美樹さん「ナミヤ雑貨店の奇蹟」東野圭吾／角川書店の順でプレゼンを行いました。聴衆に問いかけたり**ユーモア**を交えて説明したりとどの生徒も工夫を凝らして本の魅力をプレゼンしていました。今回**チャンプ本**に選ばれたのは、塚田燦志さんで、「**自分の紹介した本の魅力が皆に伝わってうれしい**」と話していました。発表者以外の2年次生も、読みたい本が新たに見つかった生徒が多く、ぜひ今後の**読書活動**につなげてほしいと思います。

2年次では、次回のビブリオバトルを**12月**に予定しています。次回のビブリオバトルでは、どんな本と出会えるか今から楽しみにしています。



◆皆さんには、6年間の学校生活の中で、いろいろなジャンルの本を、数多く読んで欲しいと思います。本を読むと「**読解力**」「**論理力**」そして「**感性**」が磨かれます(^_^)。